２０２６年１１月２５日

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Palo Alto Networks 製品ユーザーサポート

Java の脆弱性（CVE-2026-114938）の Palo Alto Networks 製品への影響

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザーサポートをご利用いただき誠にありがとうございます。

この度、Palo Alto Networks 社より Java に存在する重大な脆弱性（CVE-2026-114938）による同社製品への影響についてアナウンスされましたので、以下の通りご連絡いたします。

1. 概要

Java において、リモートから任意コード実行が可能となる重大な脆弱性（CVE-2026-114938）が報告されています。

また、Palo Alto Networks 社より、同社の Idira 製品が本脆弱性の影響を受けることが確認されています。該当するお客様は、対策バージョンへのアップグレードをご検討ください。

2. 影響を受けるバージョンおよび対策バージョン

以下、表 1 の「影響を受けるバージョン」で稼働している Idira 製品が本脆弱性の影響を受けます。なお、PA シリーズ（VM シリーズを含む）、Panorama（M シリーズを含む）および WF-500-B は本脆弱性の影響を受けません。また、Palo Alto Networks 社の SaaS 製品は同社側で修正の適用を管理しているため、お客様による対応は不要です。

表 1　対象および対策バージョン

対象製品	影響を受けるバージョン	対策バージョン
Idira - Privilege Threat Analytics 15.2	15.2.3 未満	15.2.3 以上
Idira - Privilege Threat Analytics 15.0	全バージョン	15.2.3 以上
Idira - Privilege Threat Analytics 14.6	14.6.4 未満	14.6.4 または 15.2.3 以上
Idira - Remote Access Connector	1.1.1002202 未満	1.1.1002202 以上
Idira - Remote Access Connector CLI	1.1.3701 未満	1.1.3701 以上
Idira - Secure Access with an HTML5 Gateway (On-Prem) 15.2	15.2.2.17 未満	15.2.2.17 以上
Idira - Secure Access with an HTML5 Gateway (On-Prem) 15.0	15.0.3.21 未満	15.0.3.21 または 15.2.2.17 以上

3. 解決策

対象のお客様は、表 1 の「対策バージョン」へのアップグレードをご検討ください。

4. その他特記事項

本脆弱性の詳細や最新情報は、下記のセキュリティアドバイザリを参照ください。

https://security.paloaltonetworks.com/CVE-2026-114938

なお、掲載されている以上の情報は開示されておりません。

記載内容以上の情報は、弊社サポートではお答えいたしかねますことをあらかじめご了承ください。

以上